

令和5年度 第1回三郷市高齢者保健福祉計画策定検討懇話会 会議録

開催日時	令和5年6月16日(金) 13:00~14:10
開催場所	三郷市役所 健康福祉会館5階 職員研修室
出席会員	草薨博昭 座長 今澤正夫 座長代理 晝間 章 会員 佐久間史晃 会員 秋葉 明 会員 齋藤義治 会員 佐藤真人 会員 須賀 翼 会員
欠席会員	丸山敏子 会員 神谷功一 会員
事務局	いきいき健康部 益子敏幸(部長)、原山千恵(理事兼副部長) 長寿いきがい課 茂木光司(課長)、斉藤嗣幸(課長補佐兼係長) 八巻絢子(主幹兼係長)、大杉吉正 介護保険課 中村一之(課長)、石綿英治(主幹兼係長) 伊藤美咲(係長)、小野幹
会議次第	1 開会 2 座長挨拶 3 部長挨拶 4 議題 (1) 三郷市の現状について (2) 第8期計画の実績と評価について (3) 第9期計画の基本指針及び骨子案について 5 事務連絡 6 閉会
資料	資料 ○三郷市高齢者保健福祉計画策定検討懇話会規程 資料1-1 (1)三郷市の現状について 資料1-2 (1)三郷市の現状について(日常生活圏域ニーズ調査の概要) 資料2 (2)第8期計画の実績と評価について 資料3 (3)第9期計画の基本指針及び骨子案について 資料 ○三郷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 市民アンケート調査報告書(介護予防・日常生活圏域ニーズ 調査) 資料 ○三郷市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定のための 市民アンケート調査報告書(在宅介護実態調査)

会 議 録

会 議 内 容

1 開会

- ・司会者（茂木課長）が開会を宣言

2 座長挨拶

- ・草薨座長より挨拶

3 部長あいさつ

- ・益子部長より挨拶

4 議事

司会 それでは議事の進行を座長にお願いいたします。なお、本日の傍聴希望者はおりません。

座長 本日の議題は3つあります。議題一つずつにつき、事務局から説明を受け、その後各会員からのご質問、ご意見をいただく形といたします。

（1）三郷市の現状について

座長 議題（1）「三郷市の現状について」事務局からご説明願います。

事務局 資料1－1、資料1－2、資料－市民アンケート調査報告書（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）（在宅介護実態調査）に基づき説明。

座長 ただ今の説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。

晝間会員 在宅介護実態調査のP.6「現在抱えている傷病」に関する質問に傷病があると回答した人は、医師の診断を受けた人なののでしょうか。

事務局 現在抱えている傷病については、医師の診断を受けたかどうかにかかわらず、回答者の判断でご回答いただいた結果となります。

晝間会員 それでは、「認知症」という回答も回答者がそのように考えているということでしょうか。

事務局 ご指摘の通りです。

佐久間会員 フレイルに対する対策について意見を述べたいと思います。取り組みの概要を聞いていると、おそらく60代、70代では共通認識として持たれていると思いますが、認知症の初期の症状は40代くらいから始まっていると思います。生産年齢人口が減少し、高齢者人口が増加していく中で、10年後、20年後にアクティブな60代、70代が活躍できるようにするには、フレイルに関する認識を40代、50代にも広げていくことに価値があると思います。

座長 ほかにご意見はありますか。無ければ、1番目の議題はこれで終了いたします。

（2）第8期計画の実績と評価について

座長 次に、議題（2）「第8期計画の実績と評価について」事務局からご説明

会 議 内 容

- 願います。
- 事務局 資料2に基づき説明。
- 座長 ただ今の説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。
- 晝間会員 フレイルの認知度に関する調査結果で、フレイルについて「知らなかった」という人でも、自分で健康維持や生活習慣に気を配っている人はいると思います。フレイルという言葉の認知度だけで評価するのではなく、健康的に日常生活を継続していくことを心がけている人の意識はどうとらえていますか。
- 事務局 もちろん健康に留意している人は多いですが、まだ若いなどの理由から健康維持のことを意識しない人もいると思われれます。フレイルという言葉を知っていることによって、2～3階までは階段を上るようにしようなどの意識につながっているのではないかと考えられるので、この言葉の認知度を指標といたしました。また、健康に対する意識はそれ以外の色々な事業を通じて少しずつアンケートが取れればと思います。
- 晝間会員 そういう意識を持って頑張っている人でも、介護などの支援が必要ない方は「知らなかった」と回答することが多かったと思います。「知っている」から即ちそういうことに対する意識が高いということではないと思います。皆さんに知っていただく手段は毎回会議の中で課題として議論になるものの、まだ浸透していません。介護保険制度も含めて、高齢者保健福祉計画の中でどのような施策を位置づけたら、市へ相談することで自分たちの生活のサポートにつながるという意識を持っていただければいいなと感じました。
- 秋葉会員 成年後見制度の申し立てについて、令和3、4年度は件数そのものが少なかった中で、市長申立ての件数が増えた理由はなぜですか。また、虐待から措置が増えていると思われれますが、市としてどのような対応を心がけていますか。
- 事務局 成年後見制度については、権利擁護センターへの相談件数が年々増加しており、それに伴って市長申立てが増えています。虐待の関連についても、成年後見担当の長寿いきがい係と虐待対応を担当していた地域包括係が令和2年度に長寿いきがい課に統合し、成年後見制度の利用が必要な事案については権利擁護センター（社会福祉協議会）も含め、連携しながら共同で対応しています。一概には言えませんが市長申立ての件数が増えたのはそのことも関係しているかもしれません。また、上位計画である三郷市地域福祉計画に包含する形で新たに「三郷市成年後見制度利用促進基本計画」を策定しており、様々な関係者との連携体制づくりを進めております。今後も虐待案件も含めて連携した対応を行い、体制づくりの推進については本計画にも盛り込みたいと考えております。
- 座長 ほかのご意見はいかがですか。

会 議 内 容

齋藤会員 今後、成年後見は増えてくると予想されていますが、市も対策を練っていることが理解できました。このことを計画に十分に盛り込んで、各部署で連携が取れるような体制を是非作ってください。

佐久間会員 P.4 のシルバー人材センター補助事業についてお聞きします。シルバー人材センターの会員数が減少している印象を受けますが、「課題と対応策」では会員は増えてきていると書かれていて、数値に出ない部分で増えているのかもしれませんが。気になるのは、働いている方の平均年齢と、第1号議案の中で触れられていた外出支援への希望に対するシナジーをどのように考えているのか、お聞かせください。

事務局 6月13日に開催された庁内の関係部課による行政協議会にシルバー人材センターの担当者も出席しており、現状をうかがいました。シルバー人材センターは会費制度をとっているのですが、その会費を無料にするキャンペーン期間中は会員数が伸びていました。そのキャンペーンが終了したので、お休みする会員も出てきたようです。また、雇用制度が変化しており、70歳くらいまでは働いている方が増えていることも会員減少の一因であると思われます。シルバー人材センター事業は、元々いきがい対策として始まっており、就労の観点はほとんどなかったのですが、最近では就労を希望する人が増えています。環境が許せばほかの場所で仕事を続け、それが難しくなってきたところでシルバー人材センターを通じて地域における仕事で役に立ち、かつ今まで繋がりのなかった所で社会的関係を構築していく方の支援になればと考えています。

佐久間会員 介護保険法の改正によって、訪問介護の中で買い物を含む部分が大きく制約される制度改正がありました。それで、今、外出や買い物に関わるところで課題が出てきているのではないかと思ったので、先ほどどうかがったシルバー人材センターの創業の理念の「いきがい」に大きなシナジーを期待しています。

座長 ほかにご意見はありますか。よろしければ、2番目の議題はこれで終了いたします。

(3) 第9期計画の基本指針及び骨子案について

座長 次に、議題(3)「第9期計画の基本指針及び骨子案について」事務局からご説明願います。

事務局 資料3に基づき説明。

座長 今の説明に対して、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

須賀会員 地域包括支援センターを中心として「地域包括ケアシステムの深化」という言葉が出ていますが、日常的に地域包括支援センターから相談を受けている立場から意見しますと、行政として地域包括支援センターをどう支えていくのかを考えていただきたいと思います。地域包括支援セン

会 議 内 容

- ターのことを「知らない」という人が多い中、今後はより知ってもらえるようにしていくのだと思いますが、これ以上相談が流れてきて対応できるかといえば、私は無理だと思います。なんでも「地域包括支援センターがあるから、そちらに相談してほしい」ということではなく、きちんとセンターを支えられる体制を作してほしいと思います。
- 事務局 地域包括支援センターが非常に厳しい状況に置かれていることは理解しておりますが、これからも地域包括支援センターと連携を図り、行政としてバックアップしていきたいと思います。人材育成のために費用が必要とも思いますし、そういった所などから一緒に模索しながら対応していきたいと考えています。
- 齋藤会員 今回、重点数値目標にアウトカム指標を導入するということですが、全体としてはこれが大きな改正になるのでしょうか。ほかに今回の策定方針の目玉みたいなものがあれば教えてください。あと、アウトカム指標を今回の取り組み実績あるいは評価の中に付け加えるのでしょうか。
- 事務局 施策の大きな目玉の1つとしては「保健事業と介護予防の一体的実施」があり、それが柱になってくるのかなと思います。また、それに伴って取り組みについては再度検討して、系統立てて整備したいと思います。
- 佐藤会員 「適切な進捗管理及び評価改善を行うことができるよう、…プロセス指標・アウトカム指標の設定を行い、」とありますが、第8期計画では途中での評価をやってこなかったのでしょうか。自己評価で「△」になったり、できなかつたりしたことを防ぐために、今後は評価するようにしたのでしょうか。途中で見直しを図らずどうやって進捗管理していくのか見えないので、それを教えていただけますか。
- 事務局 これまでも年度ごとに長寿いきがい課を中心に各部局に目標に対する進捗状況の確認を行ってきました。「健康寿命の延伸」などの大きな目標について、どこまで影響を与えることができたのかという検証がやや薄かったと思い、より明確にするために指標の設定を見直し、適切な進捗管理を進めていきたいと考えています。
- 座長 ほかにご質問、ご意見はいかがでしょうか。無いようでしたら、(3)の議題は終了いたします。そのほか全体的にいかがでしょうか。
- 晝間会員 今回の計画は「高齢者保健福祉計画」ということですが、対象が高齢者だけになってしまう気がしています。会議では地域を巻き込んでといますが、若い人が高齢者の生活をサポートする機会を持ったり、高齢者の生活を意識できるような雰囲気醸成したりすることを計画に入れることはなかなか難しく思われます。実際にこういう計画を策定していく中で、策定に関わる人たちが意識して、若い人たちも地域もしっかり巻き込んでいけるようなプログラムを考えていけたらと思います。
- 齋藤会員 その件に関して、地域全体で高齢者を見守るような活動について、町会

会 議 内 容

- 事務局 や自治会との関わりはあるのでしょうか。
- 事務局 私共から直接町会・自治会へお願いするということはないのですが、社会福祉協議会や民生・児童委員等を通じて地域の実情についての情報収集はしております。また、市民活動支援課など町会をフォローする部署と連携を図り、情報を得て何かフィードバックできるような方法を探っています。
- 佐久間会員 計画の骨子案では1年ごとに中間経過を見ていくということですが、3か月ごとに見るとなるとデータを集めるのは大変ですか。
- 事務局 データは毎月積み上げているのでやれないことはないですが、1年単位の方が変化がわかりやすいと思われれます。
- 佐久間会員 数値をリアルタイムで見られたらいいなと思っただけです。その件については了解いたしました。
- 座長 これで本日用意された議題はすべて終了となります。どうもありがとうございました。進行を事務局にお返しします。
- 事務局 大変貴重なご意見をありがとうございました。本計画の上位計画に地域福祉計画があります。先ほど年齢にこだわらずに全体的な計画を考えていかなければならないというご意見もいただきましたが、そのことも意識しながら取り組んでまいります。その中で高齢者の福祉を重点に置いて、何ができるのかということをして役所全体でフォローし合いながら考えていきたいと思っております。

5 事務連絡

- 事務局 次回会議の日程について説明。

6 閉会

- ・今澤座長代理より閉会のあいさつ